

みる

news from
Yotsukaido
city council

No.221

ギカイ

四街道市議会だより / 令和7年 / 12月定例会



主な議案の概要及び委員会審査概要



市議会 HP

第4回(12月)定例会では、条例の改正、令和7年度一般会計・特別会計補正予算などの議案16件、発議案1件、陳情1件の審議や議決が行われました。

主な議案と委員会での審査内容は次のとおりです。(議決結果一覧は6ページに掲載)

発議案第6号

四街道市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する 条例の制定について

全員賛成

四街道市議会の個人情報の保護に関する条例の文言の整理を行うもの。

議案内容について、賛成すべき事項として意見はありませんでした。

陳情第7号

庁舎内における政党機関紙勧誘に伴う「心理的圧力」の調査結果を踏まえ、議員による勧誘禁止の確認と職員を心理的圧力から保護する為の措置を求める陳情

賛成多数

陳情内容(要旨)

- ① 庁舎内における議員による政党機関紙の勧誘行為を禁止する旨を、改めて明確に確認し、徹底すること。
- ② 救済措置として、現行の契約を一旦すべて中止し、改めて自発的意思による申込手続きを検討すること。
- ③ 庁舎内での配達・集金を伴わない電子版購読、または自宅への配達に切り替えるよう努めること。

議案内容について、賛成すべき事項として委員会における意見はありませんでした。なお、本会議において反対討論が1件行われました。

議案第11号

令和7年度四街道市一般会計補正予算(第6号)

全員賛成

歳入歳出予算の総額に、15億1,156万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を388億6,872万9千円とするもの。

◆塵芥処理費用のうち、印刷製本費79万6千円及びごみガイドブック等配布業務委託料32万5千円の増額について

質 リチウム蓄電池等を集積所で回収するとのことだが、開始時期や収集方法はどうか。

答 令和8年4月からリチウムイオン電池やモバイルバッテリー等の2次電池は、月1回の有害ごみの日、また、リチウムイオン電池を含んだ小型家電内蔵製品は、月1回の不燃ごみの日に回収する予定である。

質 リチウムイオン電池の回収については、火災に繋がる恐れがある中、外国人に対する周知方法はどのように考えているか。

答 来年度予算で外国人が対応できるようチラシの作成を予定している。



◆債務負担行為補正モニュメント制作委託の限度額1,457万5千円の追加について

質 令和8年度以降の事業執行に対し、本年度中に契約行為を行うため追加するものとのことだが、どのようなモニュメントを制作するのか。

答 新たな市役所庁舎の全面オープンに合わせて市役所敷地内に新庁舎のシンボルとなり、撮影スポットにもなるサインモニュメントを制作する。具体的には、四街道を表現する大きな文字のモニュメントを並べるもので、横幅は最大7メートル程度とし、夜間にはライトアップなどを行う仕様を検討しているが、デザインの詳細は事業者からの提案を受けて決定する。なお、ふるさと寄附金制度を活用し、市民や企業からの寄附金も募り、芳名板をモニュメント近くに設置することも予定している。

◆障害者自立支援給付事業の扶助費 4 億 2,666 万
7 千円の増額について

質 対象者が増加したもののことであるが、詳細はどうか。

答 昨年度の同時期と比較すると、更生医療は 152 人から 176 人へ、介護給付費等支給費は、627 人から 901 人へ、障害児通所等給付費は、481 人から 661 人へと利用実人数が増加した。

質 対象者数が大幅に増えた要因をどのように分析しているか。

答 介護給付費の利用が増えている事業所については、就労系事業所や自立訓練、サービスを利用するために必要となる計画相談支援の増加率が高くなっている。また、障害児通所等給付費については、児童発達支援や計画相談支援が近年増加傾向にあり、その要因として、制度の整備が進み、利用しやすくなっていることや、相談支援の充実による利用促進、共働き世帯の増加、また、事業者の増加により供給が増えていることによるものと分析している。

◆母子保健事業の産後ケア事業委託料
281 万 9 千円の増額について

質 増額理由はなにか。

答 産後ケアの利用者は、昨年度の 4 月から 8 月までの利用実績が 33 件であったところ、今年度は 108 件と増加しているため、不足分を予算措置するものである。

質 利用者が増加した要因をどのように捉えているか。

答 増加の主な要因は、対象要件の緩和や対象月齢の拡大により、制度が利用しやすくなったことによるものと考えている。これまでの対象要件では支援者がいない方や心理的、身体的な不調がある方を対象として規定していたが、今般の制度改正では支援を必要とする全ての方が対象となったことで、支援者の有無等に関わらず、利用できるものとなった。

総務常任委員会

議案第 16 号

工事請負契約の変更契約の締結について

賛成多数

(概要)

- ・インフレスライド条項の適用・アスベスト含有建材除去工事の追加・外壁補修工事の追加
- ・解体工事で発生した建設廃棄物の処分費の追加

質 市庁舎整備工事において工事の追加等に伴い変更契約を締結するとのことだが、アスベスト含有建材除去工事の追加に関して、事前にアスベストの調査を実施しなかったのか。

答 設計事務所において図面や現場等を調査し設計を行ったが、図面に記載のない隠ぺい部等から新たに確認された部分について工事を追加するものである。また、旧庁舎は増築等を繰り返し行った経緯があり、すべての図面が揃わない事情もあり、設計時には確認ができなかった。なお、すでに解体工事は完了しており、今後、アスベストが新たに出現することはない。

質 インフレスライド条項の適用について、3 回目の適用とのことだが、減額交渉の余地はないのか。

答 1 年前に比べて物価が上昇しているため、減額交渉は難しいものとする。なお、契約約款にインフレスライド条項の規定があり、また、国からも適正に対応するよう通知が発出されていることから、これらに従って適正に対応する方針である。

質 契約の変更概要として挙げられている4点について、追加費用はそれぞれいくらか。

答 インフレスライド条項の適用が3,654万6,400円、アスベスト含有建材除去工事の追加費用が約7,740万円、外壁補修工事の追加費用が約3,530万円、解体工事で発生した建設廃棄物の処分費の追加費用が約5,080万円である。

議案第2号

四街道市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

人事院及び千葉県人事委員会の給与改定に関する勧告に準じ、議員の手当の支給割合の改定を行うもの。

質 条例の改め文について、期末手当の支給割合を改正する内容が第1条と第2条に分けて規定されているが、どのように改正するものか詳細な説明を。

答 まず令和7年12月の期末手当の支給割合を0.05月分引き上げるが、当該引き上げ分について、令和8年度からは6月と12月の期末手当に均等に振り分ける改正内容としている。そのため、令和7年12月の引上げについて規定する第1条については令和8年1月1日から、令和8年度以降の引上げ分の振り分けについて規定する第2条については令和8年4月1日から施行するものである。

都市環境常任委員会

議案第6号

四街道市道路占用条例等の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

(概要)

- ・ 占用物件の区分の細分化及び追加・占用料を県単価に合わせて改定
- ・ 1か月未満の占用料について消費税の設定・督促手数料及び延滞金の改定 など

質 国や県の占用料よりも、市の条例で定めた占用料の方が圧倒的に高かったという認識でよいか。

答 当初に占用料を設定した段階では、土地の価格を反映した占用料となっておらず、平成17年には国土交通省から土地の価格に合わせていく旨の通達が発出されたが、本市においては改定が行われず、全国的な占用料より高い価格設定が続いていたという状況である。

質 平成元年の改定を最後に36年間未改定であったものが、何をきっかけに今回改正することになったか。

答 平成17年の通達により改定の必要性は認識していたが、高額な価格設定を下げることは、歳入の減少につながるものであり、印旛郡市内に未改定の市、町もあったことから延期してきたが、令和5年度には、県内市で未改定は本市のみとなったことから、今後事業を遂行していくには、占用の種類を増やして適正なものに変えていく必要があるため、改正に至ったものである。

四街道市営霊園の指定管理者について、令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで内黒田区を指定するもの。

質 指定候補者選定評価表について、評価要件である「利用者の要望の把握方法と改善方法」が 25 点満点中 19 点と他の項目に比べやや低い理由は。

答 指定管理者選定評価委員会委員の方々の採点における意図を把握することはできかねるが、事業計画書に記載のとおり、霊園利用者から何か要望があれば基本的には直ぐに対応することとなっているものの、施設上あまり要望が多い施設ではないことから、評価が難しかったのではないかと考えている。

質 日々、市営霊園を管理している指定管理者は、お墓の維持管理が困難な状況にある利用者の困りごとや問題点等をどのように吸い上げて対応していくことになっているのか。

答 管理不全な状態にある墓地に関する困りごとや問題点等があれば、指定管理者から市の方に相談があるため、市から墓地使用者へ連絡するなどの対応を図っているが、なかには対応が困難な事案もある。



霊園施設設置時における経緯と経過が記された石碑

教育民生常任委員会

(概要)

- ・虐待等に該当する行為の引用先を変更するもの
- ・施設又は事業所に置かなければならない保育士に地域限定保育士等を含めるもの など

質 今回の改正に伴い財政的な影響は生じるのか。また、市としてどのような変化があるのか。

答 今回の改正に伴う財政面への影響はない。乳幼児の健康診断等が入所時の健康診査として認められるようになり、県とともにを行う認可保育所等の監査も乳幼児健診が認められる運用に変更される。

四和小こどもルームの利用者の増加に伴い、四和小学校に増設するこどもルームの名称及び位置を定めるもの。

質 新設する四和小つばさこどもルームの定員数は何人を予定しているか。

答 40 人である。

四和小つばさこどもルーム



令和7年12月定例会議決結果一覧

本会議と委員会のいずれにおいても、出席した全議員が賛成した議案
(委員会審査を省略した議案を含む)
※議長は本会議の採決に、委員長は委員会の採決には加わりません(可否同数の場合を除く)

| | | | | | |
|----|------|--|-----|------|---------------------------------------|
| 議案 | 第1号 | 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の一部廃止及び千葉県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について | 議案 | 第8号 | 四街道市子どもルーム条例の一部を改正する条例の制定について |
| | 第3号 | 四街道市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について | | 第9号 | 字の区域の変更について |
| | 第4号 | 四街道市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について | | 第10号 | 四街道市宮霊園の指定管理者の指定について |
| | 第5号 | 四街道市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | 第11号 | 令和7年度四街道市一般会計補正予算(第6号) |
| | 第6号 | 四街道市道路占用条例等の一部を改正する条例の制定について | | 第12号 | 令和7年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) |
| | 第7号 | 四街道市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について | | 第13号 | 令和7年度四街道市介護保険特別会計補正予算(第2号) |
| | 第14号 | 令和7年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | | 第15号 | 令和7年度四街道市下水道事業会計補正予算(第2号) |
| | | | 発議案 | 第6号 | 四街道市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について |

本会議において賛否が分かれた議案等

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|---|------------|------|------|---------|------|------|-------|--------|------|----|-------|------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|---|
| ○: 賛成 ×: 反対 欠: 欠席 議長は本会議の採決には加わりません ※可否同数の場合は議長が裁決します | | | 結果 | 芝崎剛介 | 石井幸夫 | ふじわらちかこ | 六田喜彦 | 大谷満子 | 阿部百合子 | 宮城そういち | 飯豊明久 | 欠員 | 岸本潤一郎 | 田中徳彦 | 成田芳律 | 長谷川清和 | 森本次郎 | 大越登美子 | 坂本弘毅 | 関根登志夫 | 西塚義尊 | 戸田由紀子 | 石山健作 | |
| 議案 | 第2号 | 四街道市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決(賛成多数) | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| | 第16号 | 工事請負契約の変更契約の締結について | 原案可決(賛成多数) | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |
| 陳情 | 第7号 | 庁舎内における政党機関紙勧誘に伴う「心理的圧力」の調査結果を踏まえ、議員による勧誘禁止の確認と職員を心理的圧力から保護する為の措置を求める陳情 | 採択(賛成多数) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 |

委員会において賛否が分かれた議案

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|---|------------------|------|------|---------|------|------|-------|--------|------|----|-------|------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| ○: 賛成 ×: 反対 欠: 欠席 委員長は委員会の採決には加わりません ※可否同数の場合は委員長が裁決します | | | 付託委員会結果 | 芝崎剛介 | 石井幸夫 | ふじわらちかこ | 六田喜彦 | 大谷満子 | 阿部百合子 | 宮城そういち | 飯豊明久 | 欠員 | 岸本潤一郎 | 田中徳彦 | 成田芳律 | 長谷川清和 | 森本次郎 | 大越登美子 | 坂本弘毅 | 関根登志夫 | 西塚義尊 | 戸田由紀子 | 石山健作 |
| 議案 | 第2号 | 四街道市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 総務 原案可決(賛成多数) | × | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | - | ○ | - | - | - | ○ |
| | 第16号 | 工事請負契約の変更契約の締結について | 総務 原案可決(可否同数) | × | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | - | ○ | - | - | ○ | - | - | × |

ギカイの豆知識：議決にはさまざまな種類があり、予算や条例などは「可決(否決)」、決算は「認定(不認定)」、専決処分は「承認(不承認)」、人事案件などは「同意(不同意)」、請願や陳情は「採択(不採択)」と呼び方が異なります。



とただ 問 い 質 す

一般質問

会議録は市議会ホームページの「会議録」(令和8年3月公開予定)または市立図書館、市役所本館1号棟3階の情報公開室にてご覧ください。

第4回(12月)定例会では15人の議員による一般質問を行いました。詳細は市議会ホームページの「議会中継」から動画で視聴いただけます。



議会中継



いづき
飯豊 明久

行政の責務と公平性：スポーツ、医療、福祉支援



問 独自調査で利用者の多くが庭球場ナイター設置や中央公園コート改修を要望。見解を問う。

答 庭球場ナイター設備の要望は市へ届いてないが、個別調査した場合は利便性向上が図られるため設置希望者は多いと考える。夜間のコート利用は近隣の住宅、アパートに対し騒音などの影響が大きいため設置予定はない。中央公園庭球場は「公園施設長寿命化計画」で既存のまま更新する位置付けであるが、現在は、ライン張替えの改修準備を進めている。

問 公務員給与と低賃金に苦しむ医療・介護職員の格差を、「税金の公平な使い道」の観点から是正する考えを問う。

答 国の社会保障審議会において介護報酬改定の議論が開始されているため、その動向を注視していく。なお、その改定結果を踏まえ、市長会などを通じて国へ要望していく。

問 万引きを繰り返すクレプトマニア(病的窃盗症)への専門医療機関への接続を含めた具体的な支援の仕組みを問う。

答 再犯防止計画を現在策定中の第4次四街道市地域福祉計画で策定する予定である。

計画の策定後には、くらしサポートセンターみらいを窓口として関係機関等と連携を図りながら、相談者の状況に応じた包括的な支援体制を構築していく。また、本市の更生保護活動に従事されている保護司会や更生保護女性会と連携して就労支援等に努め自立の援助を図っていく。





チャレンジみらい
六田 喜彦

旧消防資料倉庫用地の活用について



問 旧消防資料倉庫用地の活用について、本市の財政負担に頼らない民間による利活用の調査や^{あっせん}斡旋への市としての取り組み姿勢を伺う。

答 庁内の連携により、民間による利活用の意向などの情報が得られたら、吉岡区に情報を提供し、旧消防資料倉庫用地の利活用のサポートを行っていく。

問 本年も姉妹都市リバモアとの交流を行ったが、本市中学生への語学・国際理解教育にどのような効果があったか伺う。

答 参加した子どもたちからは、上手く意思疎通ができずもっと英語を勉強したくなった、多様な文化や習慣等に触れることで自分を客観的に見ることができたとの話があった。また、準備が家庭にとって、新しい体験でよかったという話も聞いた。こうした経験が子どもたちの英語学習意欲や自分

を見つめる機会につながり、また、ホストファミリーやご家族の皆様にとっても、良い効果があったものと思っている。

問 ランニングイベント事業について、公園外での開催、ガス灯ロードレース大会再開の可能性について伺う。

答 四街道ワラビーラン実行委員会にて、次年度以降の大会を旧ガス灯コースに戻すか、四街道総合公園コースで引き続き開催するかを、開催費用やボランティアを含めた従事者人数等を説明し、採決を取ったところ、四街道総合公園コースに決定したところである。



チャレンジみらい
岸本 潤一郎

次期清掃工場費用削減と福祉向上活用について



問 吉岡建設中止により次期清掃工場は広域・単独ともに現在地で最短で建替えが現老朽施設の莫大補修費を防ぎ大幅費用削減となる。現在地建替えによる地域再開発について伺う。

答 これまで多くの時間を費やしているため、スピード感をもって、市民に資するごみ処理行政を実現できるかという観点から、広域化の枠組みを決定していきたい。みそら自治会から、協定書の改定要請をいただいているが、どう改定するか未定であるため、現施設の裏手で直ちに建替えするとは約束できない。

問 昨年7,263人が利用した鹿島荘の市の令和10年3月廃止計画は、高齢者健康維持に悪影響となる。廃止見直しと長期的活用を伺う。

答 鹿島荘は四街道市公共施設再配置計画で廃止と位置付けられている。一方、クリーンセ

ンターの関連施設で、高齢者の方等の交流の場であるため、必要最低限の経費で維持していく方針に変更はないが、指定管理期間の延長を視野に施設の管理運営を考えていく。

問 高齢化で出動が激増する消防職員の人員拡充策と地方創生交付金による消防本部建替と仮眠室環境改善を伺う。

答 消防力の整備指針を根拠に算定すると、43名の人員不足が生じているため、職員の拡充を図るべく関係各課との協議を継続する。消防庁舎の整備は、多様な人々がつながる共創の場としての複合施設であれば、地方創生2.0の適格性を満たすため、官民連携の事業手法など、発想の転換が必要であると考える。



無会派
ふじわら ちかこ

見過ごせない。外国人の生活保護・国保未納



外国人の生活保護について

問 不正受給の額の総額と回収状況は。

答 3年間の不正受給額の総額は170万6,027円である。内訳としては、令和4年度はなく、令和5年度は105万3,810円、令和6年度は65万2,217円である。回収状況としては、令和7年10月末現在で17万3,810円である。

外国人の不正受給分の返還について

問 市は月々いくらの返還を想定しているか。また、何年程度の完済を見込んでいるのか。

答 世帯の家計状況や生活状況に配慮しながら月々の返還額を決定している。返還額の完済見込みについては、返還決定額の大小により完済時期は異なることから、一概には申し上げられないが、概ね10年程度の期間を要するものもある。

外国人の国民健康保険税の未納について

問 過去3年の外国人の回収不能となった金額は。

答 居所不明により執行停止となった未、法令に基づき、不納欠損となった外国人の過去3年の欠損額は、令和4年度で357万2,900円、令和5年度で251万2,511円、令和6年度で349万9,600円である。

| 過去3年間の外国人の回収不能による不納欠損額 | |
|------------------------|------------|
| 令和4年度 | 357万2,900円 |
| 令和5年度 | 251万2,511円 |
| 令和6年度 | 349万9,600円 |
| 過去3年間合計 | 958万5,011円 |



チャレンジみらい
森本 次郎

未来に向けたリーダーシップを



問 鹿渡南部周辺地区の交通安全対策及び砂ぼこり対策の取り組み状況について伺う。

答 交通安全対策については、交通量が増加していくと認識しており、地域からの意見や要望により対策の検討を進めている。

砂ぼこり対策については、原因となる農地の現状を把握し、令和7年7月に対策を依頼する文書を周辺の農家に回覧した。

問 汚染残土裁判は勝訴したが、差し押さえで競売となった土地の入金はあったか。また、市の関係者の責任追及が必要ではないか。

答 不動産競売については、入札での最高価買受け申出人から期限内の代金の納付がなく、再度の入札手続が行われる見込みである。

下野商事外3者に対する損害賠償請求訴訟で、市は全面勝訴しており、責任は被告らにあることから、

当時の市長や関係者への責任追及は考えていない。

問 学校統廃合について、市長部局も傍観するだけでなく、法律の趣旨に則り、千葉市のように、総合教育会議に副市长も出席し、事務局も市長部局として、公共施設再配置を強力に進めるべきでは。

答 統廃合については、学校施設の問題だけではないことから、市長部局と連携を要する部分もあると考える。参加する人員や担当をどうしていくかなども検討し、子どもにとってより良いものになるよう総合教育会議を利用していきたい。



公明党
大谷 満子

住みやすい四街道市を目指して！



問 アールエスRSウイルスが与える高齢者や基礎疾患をお持ちの方への重症化が報告されている。重症化へのリスクの周知、感染予防の徹底をお願いしたいが市の考えを伺う。

答 RSウイルスは、咳やくしゃみなどの飛沫感染ひまつや物を介した接触感染が主な感染経路と言われ、感染予防には手洗いや消毒などの基本的な感染対策の徹底が重要となる。

現在、市ホームページで公開している感染症に関するコンテンツで、分かりやすく市民に向け啓発していく。

問 市内外のフリースクールに通う方の個人負担が大きいことから補助が可能か伺う。

答 本市では、フリースクールに通う児童生徒の保護者負担軽減支援は行っていないが、国や県、他市町村の状況を注視し、今後も調査、研

究に努めていく。

問 市で行う防災訓練への高校生や中学生の若者参画が可能か伺う。

答 中学生・高校生は、過去の事例等から、発災時に戦力として期待されており、市としても防災訓練に積極的に参画する状況は、望ましいと考えている。しかしながら、部活動を含む様々な学校行事等がある中で、学校からの組織的な参加という形は難しい状況である。どのように参画させていくかについては、他自治体の取り組み等を調査研究していく。



公明党
田中 徳彦

それぞれの対応状況について



問 直近3年間の感震ブレイカーの設置について、設置状況を把握しているのか伺う。

答 消防本部では、春・秋に行われる全国火災予防運動週間中に、住宅用火災警報器と併せて感震ブレイカーの設置状況を調査している。設置率については、令和4年度は15%、令和5年度は12%、令和6年度は16%となっており、設置率は低い状況であることから、引き続き市政だよりやSNSなどを通じて広報していく。

問 マイナ救急について、今後の本格導入に向けた課題と対応方針について伺う。

答 マイナ救急の課題として、外出時やセキュリティの不安からマイナ保険証を常時携帯する方が少なく、救急要請時に携帯していない場合、救急隊が医療情報を速やかに取得することが困難であることが挙げられる。

今後の対応方針としては、マイナ救急の有用性を広く市民へ周知するため、SNSの活用、救急フェアや消防フェスティバルなど、あらゆる機会を通じて幅広く広報していく。

問 自転車ヘルメットの補助対象について、現状では小中学生が対象となっているが、事故の多い高校生への補助対象拡大について、市の見解を伺う。

答 高校生に対する補助の有効性については認識しているが、まずは現行の補助制度を通じて、判断力や危険認知能力が発達途上である小・中学生のヘルメット着用率の向上に取り組んでいく。



チャレンジみらい
石井 幸夫

未来に向けた取組と全ての人が安全で誇れる街に



問 日本大学の広大な用地は本市の発展に欠かせないと思う。日本大学と連携して研究施設や先端技術産業を誘致していくことは可能か伺う。

答 日本大学と連携することで、誘致する企業の幅が広がり、お互いのメリットが生じる場合もあると思うので、日本大学の意向を確認しながら、誘致活動を進めていく。

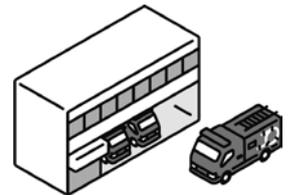
問 市民の安全を守る消防署は、老朽化や耐震化等の面で問題であり建て替えが必要と思うが見解を伺う。

答 消防庁舎は、本市における消防活動の基幹施設であり、災害時には状況把握や指揮を担う最も重要な拠点施設である。老朽化などの課題がある現状においては、災害対応力の確保に影響を及ぼす可能性があるため、早急かつ慎重に検討する必要があると考え、庁舎の建て替えを含めた、あ

らゆる可能性を視野に入れた調査・検討を進めている。

問 多年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者に、敬意と感謝する長寿者褒章事業の現況と拡充について伺う。

答 現況としては、100歳を迎えた方のもとに市長が直接訪問し、お祝い状と記念品を贈呈して祝意をお伝えしている。また、95歳及び90歳を迎えた方には、民生委員が訪問し、お祝い状を贈呈して祝意をお伝えしている。事業の拡充については、今後、福祉サービス部における事業展開の状況を踏まえ、検討していく。



新政
戸田 由紀子

文化センターの大規模改修工事



問 近年、芸術文化は人々の「心の栄養」として、その重要性が再認識されている。

市文化センターは建物全体の経年劣化及び音響設備や空調の不具合が生じている。大規模改修工事によってどう変わるのか。目指すところは何か。改めてコンセプトを伺う。

答 文化センター大規模改修工事は、施設の長寿命化やバリアフリー化、新たな機能の設置などを通じて、市民の文化・教養の向上及び福祉の増進を図るとともに、憩いの場、賑わいの場を創出することを目的とするものである。市民会議を通じて意見書が取りまとめられ、「文化の発信・交流基地として市民が集える施設」を基本コンセプトとしている。

問 今後、市長部局が所管することはいかがか。

答 教育部と協議をしていく方針であり、よりよい魅力のある施設として活用できるように検討していく。

学校給食施設の猛暑及び老朽化への対策

問 学校給食施設への猛暑対策と老朽化した施設への対策を伺う。

答 学校給食施設の猛暑対策として、体感温度等が少しでも改善するように、電動ファン内蔵の調理服での対応を検討していく。

また、施設の老朽化については、新たな学校給食施設の整備を検討していることから、現在は最小限の修繕で対応している。



無党派
阿部 百合子

まだまだ続く物価高、くらしを守る自治体に



問 介護保険制度が、国の審議会において、利用料2割負担の対象拡大といった議論が進んでいるが、国にむけて自治体から意見を出していただきたいが、いかがか。

答 厚生労働省の案では、利用料の負担の増加に伴うサービスの利用控えを防ぐための方策について検討がされている。そのため、国の社会保障審議会での議論を注視するとともに、今後示される改正内容に伴う影響の把握に努めていく。そのうえで、必要に応じて市長会などを通じて国へ要望していく。

問 下水道使用料の値上げが予定されているが、物価高騰という市民の暮らしの状況を見て、期限付きで先送りというやり方はいかがか。

答 現在の下水道使用料を継続した投資財政計画では、令和7年度決算以降は純損失の計

上、令和12年度には運転資金の不足が見込まれ、猶予がない状況である。下水道事業は、重要なライフラインであり、将来にわたって健全に経営していくため、適切な時期に下水道使用料の改定が必要であると考えている。

問 市内在住の外国人に対して、もっと住みやすい街になるように、どのような施策で臨んでいるのか。

答 令和8年4月からを計画期間とする四街道市多文化共生推進プランの策定を進めている。本プランをもとに、様々な施策に取り組んでいく。11月6日には、四街道警察署と多文化共生推進に関する覚書を締結した。力を合わせて多文化共生社会の充実に努める。



いばき
大越 登美子

鈴木市政とまちづくり



問 市内商工業への振興策の取り組み状況を伺う。

答 イベント等への支援については、商店街活性化事業補助金により、各商店会が実施するイベントや街路灯電気料の補助を行っている。また、空き店舗等活用事業補助金については、平成25年度に創設し、補助の内容を見直しながら現在も継続しており、今年度は2件の事業を採択している。

問 これまでの図書館事業の取り組みと成果を伺う。

答 図書館では資料提供に加え、令和5年度から図書館サポーターと協力し、乳幼児連れでも安心な「図書館ん家」や夏休みの「朝活図書館」などの新事業を展開している。

特に利用者が運営に参画する取り組みは、令和7

年度「ちばコラボ大賞」で千葉県知事賞を受賞した。

問 次期ごみ処理施設用地問題に関する再発防止策の中で、どのような結果に至り改善してきたか。公文書管理条例の必要性について見解を伺う。

答 起案日の遡りや文書の一部差替えといった課題を受け、市情報化推進計画にも位置付けている文書管理システムを令和6年度から導入し改善を図った。市行政文書管理規程などに基づく対応が可能なおかげで、本規程を条例化することは考えていないが、市民の皆様から信頼される行政運営に努める。



政 まつりごと
宮城 そういち

外国人生活保護・NHK問題・モノサクについて



問 外国人生活保護について、国通知に基づき、申請書写しの知事報告や大使館等から保護を受けられない旨の確認を含む手続きを、本市はどのように実施しているのか伺う。

答 国通知に基づき、保護申請書等の関係書類を添付の上、県への報告を実施している。県が各国大使館等に保護又は援護を受けることができないかを確認し、その結果が市に通知されている。

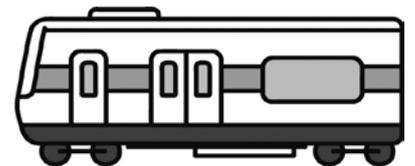
問 NHK受信料について設置目的や使用状況を点検し、不要なテレビの撤去や契約見直しなど支出の適正化を図る考えはあるのか伺う。

答 各施設管理者において、設置場所や使用実態などの必要性を十分に検討した上で、NHK受信料の契約をしているものと認識している。しかしながら来年度に向けた設置状況調査では、

機器の設置目的や使用実態を改めて確認し、設置台数の適正化に努め、無駄な支出を防ぐための見直しを進めていく。

問 写真スポット「モノサク」について、地域や安全に配慮しつつ、今後どのように魅力を発信していくのか伺う。

答 魅力の発信としては、「モノサク」の美しい風景を活かした、ふるさと寄附返礼品の紹介動画を制作し、市公式チャンネルで発信した実績がある。今後も、安全面に最大限配慮しながら、本市の美しい風景の一つとして、機を捉えて紹介したいと考えている。



チャレンジみらい
坂本 弘毅

大型事業に対する市の考え方について



問 次期ごみ処理施設整備事業の先行きは非常に厳しい状況となったが、八街市との連携も含めどのように考えながら進めていくのか。

答 吉岡区内での次期ごみ処理施設整備事業については、基準値不適合の地下水に対する対策工事が技術的に困難であり、多額の財政支出が必要と想定されるため、中止せざるを得ないと判断をした。今後は、広域化を前提に検討を進める。広域化協議を進めてきた八街市とは、引き続き情報交換を行っていく。

問 文化センター、消防庁舎と改修工事や建て替え工事が控えているが、優先順位や財政状況を鑑みて、市としてどのように考えながら事業を進めていくのか。

答 当該事業の総合計画における位置付けのほか、事業費の規模や実施予定時期、財源と

なる国・県の補助制度及び起債の交付税措置などを総合的に勘案し、財政の健全性を保ちつつ、事業の実施を検討していく。

問 四街道雨水幹線の溢水対策に向け早急に取り組んでいく必要があるが、どのように考えながら進めていくのか。

答 施設規模の見直しに伴い、事業計画の変更が生じたため、佐倉市との河川協議を進めているが、協議で提示された意見を踏まえた対策の検討に時間を要している。今後は、意見に対する対策も含めて適切な整備方法を判断の上、整備スケジュールを作成後、議会へ報告するとともに、地域の皆様に説明を行い、計画的に進めていく。



新政
成田 芳律

2026の四街道



問 国・県から各種照会や調査の件数及び対応に苦慮するものはどの程度あるか。また、回答期限の延長を含め改善要求を行うことについていかがか伺う。

答 エルジーワン LGWAN回線を通じた県からの各種照会等のメール件数は、昨年度の月平均が約3,200通に対し、今年度は9月末時点で月平均が約4,200通と増加傾向にあり、決して少ない件数ではないと認識している。こうした状況の改善に向け、他市と連携して県市長会に働きかけていきたいと考えている。

問 公園の花火利用は、他市でロケット花火や爆竹を除き認めている事例がある。そこで、現状禁止だが再検討についていかがか伺う。

答 公園内の花火利用は、過去に遊具やベンチへの破損行為など、トラブルが発生した経

緯があるため、都市公園条例に基づき制限しているが、他市では利用を認める事例もあることから、今後、他市の状況調査を進める。

問 小中学校の熱中症対策として塩分タブレットの持参についていかがか伺う。

答 現在、各学校において、塩分摂取のためのスポーツドリンクの持参を推奨するなど、暑さ対策を積極的に講じている。また、部活動などの際に、塩分タブレットを摂取させることで熱中症対策を講じている学校もある。

市教育委員会では、県の熱中症対策ガイドラインに基づきながら、学校からの相談や状況に応じて適切な指導、助言を行っている。



公明党
西塚 義尊

公共交通空白地域の対策



問 千代田地区での実証実験を行ってきたが、このたび「地域運営型グリスロ」実証実験地区の公募に応募した自治会はあるか伺う。

答 募集期間において、みそら自治会から応募があった。

問 半年間の実証実験のあとの計画についてはどのようにしていくのか伺う。

答 みそら地区における効果や課題等の検証を踏まえ、事業の方向性を検討する。

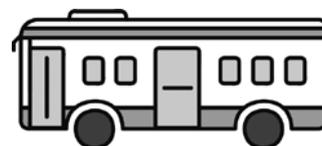
問 グリスロをはじめ、デマンドタクシーなどこれまでも公共交通空白地域解消への取り組みを進めてきたが、その実績と課題を伺う。

答 これまでの取り組みの実績については、市内循環バス「ヨッピー」を運行しているほか、さつきヶ丘地区における「デマンド型乗合タクシー」や、千代田地区における「グリーンスロー

モビリティ」の実証実験を行ってきた。

いずれの取り組みにおいても、既存の公共交通サービスとの協調や事業の持続可能性の確保が必要であり、交通手段ごとの役割分担や利用者負担の在り方などに課題があると認識している。

また、公共交通の維持・確保には行政だけでなく地域の関係者の協力が不可欠であることから、住民の皆様にも「自ら支え合う交通」という視点を持っていただき、協働・共助への理解と参加を得ていくことも重要な課題であると考えている。



委員会視察レポート

議会運営委員会

日程：令和7年10月21日、22日

視察先：①栃木県那須塩原市議会

②福島県会津若松市議会

視察内容：①議会取組実施計画の取り組み状況等とオンライン会議について②議会改革について

①那須塩原市：平成24年「議会基本条例」の制定から10年以上が経過し、条例に照らした取り組みの振り返り、検証チェックシートによる評価を会派ごとに実施されています。

また、PDCAサイクルシートによる目標・成果・改善点の整理をすることで、改善点と今後の方向性が可視化されています。

更には、コロナ禍以降にオンライン会議を導入し、委員会や議会報告会をオンラインで実施されています。YouTube、Facebook、Instagramなどの活用も進めており、形を変えながらも市民との対話を軸に置かれています。

②会津若松市：平成20年「議会基本条例」を制定



那須塩原市役所

し、特徴として【市民参加を基軸】【議決責任と説明責任を条文に明記】【政策サイクルの3つのツール】を重点としています。

なかでも地区別、分野別に市民との意見交換会を年2回実施し、課題を抽出し、また、議員間討議により論点を整理し、執行機関への政策提言に繋げ、市民へのフィードバックまでを政策サイクルとするため、令和4年8月に通年議会を導入し、実効性のある議会評価制度を構築されています。

議会改革の先進市の取り組みを学び、まずは、議員間で議論し、議会としての方針をもち、市民に開かれた市民と歩む議会とするべく取り組んでまいります。

(委員長 石山 健作記)

広報広聴特別委員会

日程：令和7年11月5日、6日

視察先：①三重県いなべ市議会

②三重県四日市市議会

1、視察内容

①いなべ市：市民の率直な意見を継続的に聴取、SNSでのターゲットを絞った情報発信。

②四日市市：「市民との情報共有」と「市民参加の推進」を柱とし、本会議場の大型スクリーン設置、本会議に加え委員会の映像配信、YouTubeの活用、SNS運用。

2、視察を通じた検討事項

・議会だよりのリニューアルを直ちに実行するとともに、議会だよりの編集に必要な規程の策定。

・委員会配信や市に費用負担が生じない動画配信サービス（YouTube等）の順次検討。

・当委員会が主体的に、市民の声を聴く環境整備を行う必要性。また、委員会内の議論に留まらず、フットワークを重視した改善を図る体制へ移行する必要性を視察を通じて認識しました。

(委員長 成田 芳律記)



四日市市役所

都市環境常任委員会

日程：令和7年10月28日、29日

視察先：①山形県寒河江市

②山形県天童市

①寒河江市：ゼロカーボンシティ宣言の推進について
寒河江市では、市民、事業者との協働により地球温暖化の防止を推進することを目的に平成26年度から令和5年度までの10年間を計画期間とする「寒河江市地球温暖化対策実行計画」が策定され、現在は第2次計画に基づいて事業が進められています。5つの基本目標が掲げられ、市の特徴としては、太陽光以外の再生可能エネルギー及び未利用熱の利用について検討がなされており、冬期間の消雪のために地下水を利用していることや帯水層蓄熱システムを導入しているとのことでした。

また、令和7年度に県において「山形県熱の面的利用可能性調査研究会」が立ち上げられバイオマスや地下水熱、温泉熱等の未利用熱について県民生活や産業分野への活用可能性について調査研究を開始したとの説明もありました。地域ごとに様々な可能性も含めて特色のある積極的な検討や取り組みがなされていると感じました。

②天童市：空き家等対策の取り組みについて

全国の自治体においても今後さらに懸念事項となることが予測されている空き家問題。そこで、先進的な取り組みをされている天童市へ伺いました。

まずは市の考えとして「民間でできることは民間で、

行政にしかできないことは行政で！」を合言葉として取り組んでいることに感銘を受けました。空き家の抑制については民間の活力も重要なことであるからです。

その中でも市が民間に委託をして「天童市アキカツカウンター」を開設しているということでした。オンラインでの相談窓口となっており、専門アドバイザーがお悩みを聞き、整理して解決に向けた道筋を提示し解決をお手伝いする信頼できる事業者を紹介する取り組みとなっています。もちろん相談は無料です。

次に、本市においても是非とも参考にしたい取り組みとして「わが家のエンディングノート」を導入していることでした。このノートには家のこと、土地のこと、家族構成、相続の観点から家系図、周辺の環境判定、改修工事の記録などが記入できるようになっています。

このノートがあれば所有者自身が持ち家に対するさらなる認識の向上、また所有者が亡き後の相続問題も円滑に進んでいくのではないのでしょうか。

この2つの取り組みにより空き家所有者の困りごとを可視化することが可能になったとの報告もあり、先進的な取り組み事例を学ぶことができ大変有意義な視察となりました。



(委員長 坂本 弘毅記)

寒河江市役所

会期日程



3月定例会は3月4日～30日（予定） 詳しくは右記コードを読み取ってください。

編集後記

毎号ご覧いただき御礼申し上げます。私共もいかに的確に、かつ親しみ易く、読み易く、市民の皆様には議会の動きをお伝えできるかを模索してまいりました。

先進的な他市の良いところを取り入れようと視察を重ね、ついに今号から紙面一新！

タイトルもインパクトを追及して「みるギカイ」に、また本文も横書きとし、色合いも含め市民の皆様にとっていただける新鮮さと親しみ易さを追及しました。もちろん、本文の内容も考え抜いたものです。

これからも改良を続け市民の皆様と議会のより良い架け橋を目指します！

(岸本 潤一郎記)